

# 布引だより



令和3年10月4日

No.6

<http://www2.higashiomi.ed.jp/nunosyo/>

～一人ひとりがキラリ輝く布引の子～

## 実りの秋

2学期も早1か月が過ぎました。1年間で一番長い2学期、一日一日毎日の積み重ねが大切にしていきたいものです。ご存じの方も多いと思いますが、江戸時代の儒学者、新井白石の「一粒の米」という有名なエピソードがあります。白石は幼いとき、毎日朝から晩まで遊び回っていたそうです。それを見た白石の父親が、白石にこう言います。「米びつから一粒のお米をとっても、お米が減ったかわからない。けれども1年、2年、3年も続けると減ったことが目に見えてわかる。反対に、米びつに一粒お米を入れても増えたかわからない。けれども1年、2年、3年続けていくと増えたことがわかる。勉強や習い事も同じで1日勉強したり練習したりしてもすぐに賢くなったり、上手になったりするわけではない。しかし毎日ほんの少しずつでも努力を続けると、1年、2年、3年と積み重ねるうちに成果がわかる。反対に、勉強や練習を少しだけ怠けたからといってすぐに勉強ができなくなったり、下手になったりするわけではない。けれど1年、2年、3年もすると気づいたときには勉強もわからなくなっているものだ。」というお話です。学校でも、「わかった」が積み重なっていくような学習をめざしていきたいです。

## 地域感染レベルが下がりました

8月27日に発表された緊急事態宣言から1か月が経過しました。緊急事態宣言が解除され、地域の感染レベルもレベル1となりました。以前紹介した文科省から出されたマニュアルによると、感染予防対応は、下のようになっています。学習活動も適切な感染対策を行った上で「実施」となっていますので、学校の教育活動も徐々に実施できることを増やしていきます。現時点で、校外学習は対策を講じて実施する予定です。

活動	レベル3, レベル2 拡大局面	レベル1	本校対応(10/1～)
健康観察	同居の家族の健康状態も確認	同居家族の健康状態把握、校舎外での検温は必要なし	家族の健康状態も確認(継続)。昇降口での検温は終了。
出席停止	同居の家族に風邪症状がある場合も登校できない	本人に発熱等風邪症状が見られる場合、家族等が濃厚接触者に特定された場合は出席停止	発熱があった場合は、本人のみ出席停止。同居家族に風症状があった場合でも登校可。
学習	レベル3では、机の間隔は最低1m確保	机の間隔は1mを確保できなければ、できるだけ距離を離し、マスクの着用、換気を十分にします。  適切な感染対策を行った上で実施	机の間隔は1mを確保できなければ、できるだけ距離を離し、マスクの着用、換気を十分にします。
	近距離で一斉に大きな声で話す活動はリスクが高いため停止		班交流などフェイスシールドをつけ徐々に実施。
	室内で近距離で行う合唱及び合奏はリスクが高いため停止		つい立を利用する、小さな声で歌う、演奏後は必ず手を洗うなどの対策をして徐々に実施。
	近距離で行う調理実習はリスクが高いため停止		感染対策をして徐々に実施。
給食	密集する運動はリスクが高いため停止	引き続き実施・歯磨き実施。	
給食	手洗いの徹底。体調不良の児童は当番をしない。飛沫を飛ばさない席の配置		
清掃活動	換気の良い状況でマスクをして実施。掃除後は石けんで手洗い		トイレの清掃には消毒した手袋を着用。手洗い場の清掃は使い捨て手袋を使用。(継続)
消毒	感染者が発生した場合でなければ不要。症状のない濃厚接触者が触った物品も不要		放課後、扉の取手など教室内共有部分、水道蛇口等の消毒。

※給食後の歯磨きもしますので、準備をお願いします。